

仙台印刷団地クラスター革新プロジェクト 2008

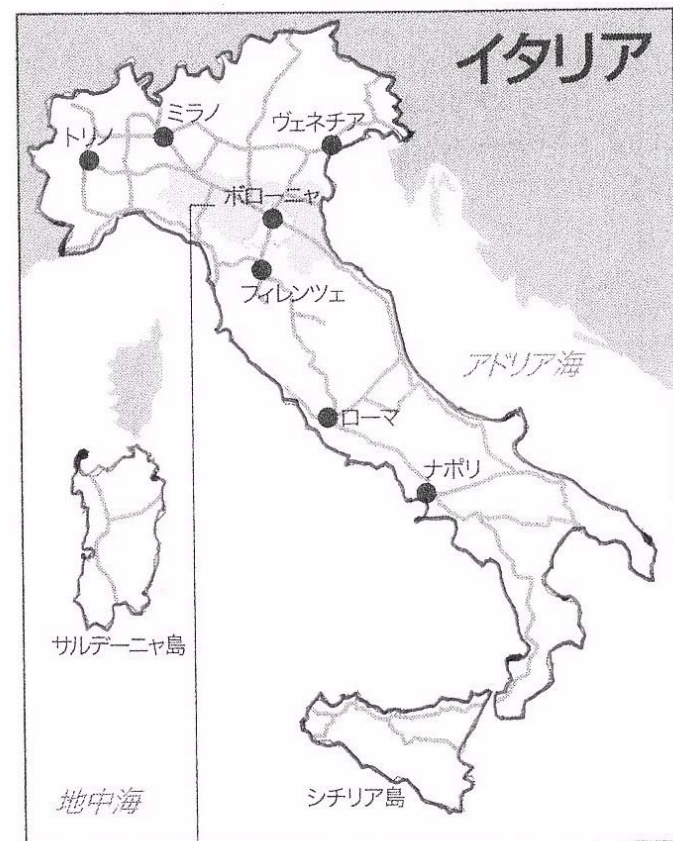
# 創造都市 イタリア・ボローニヤの事例

大和田 美香

## 〔基本情報〕

### イタリア・ボローニャ

- ・エミリア・ロマーニャ州の州都
- ・人口37万人(2005年)、面積140.73km<sup>2</sup>
- ・イタリア半島の付け根部分にある。



## 〔背景〕

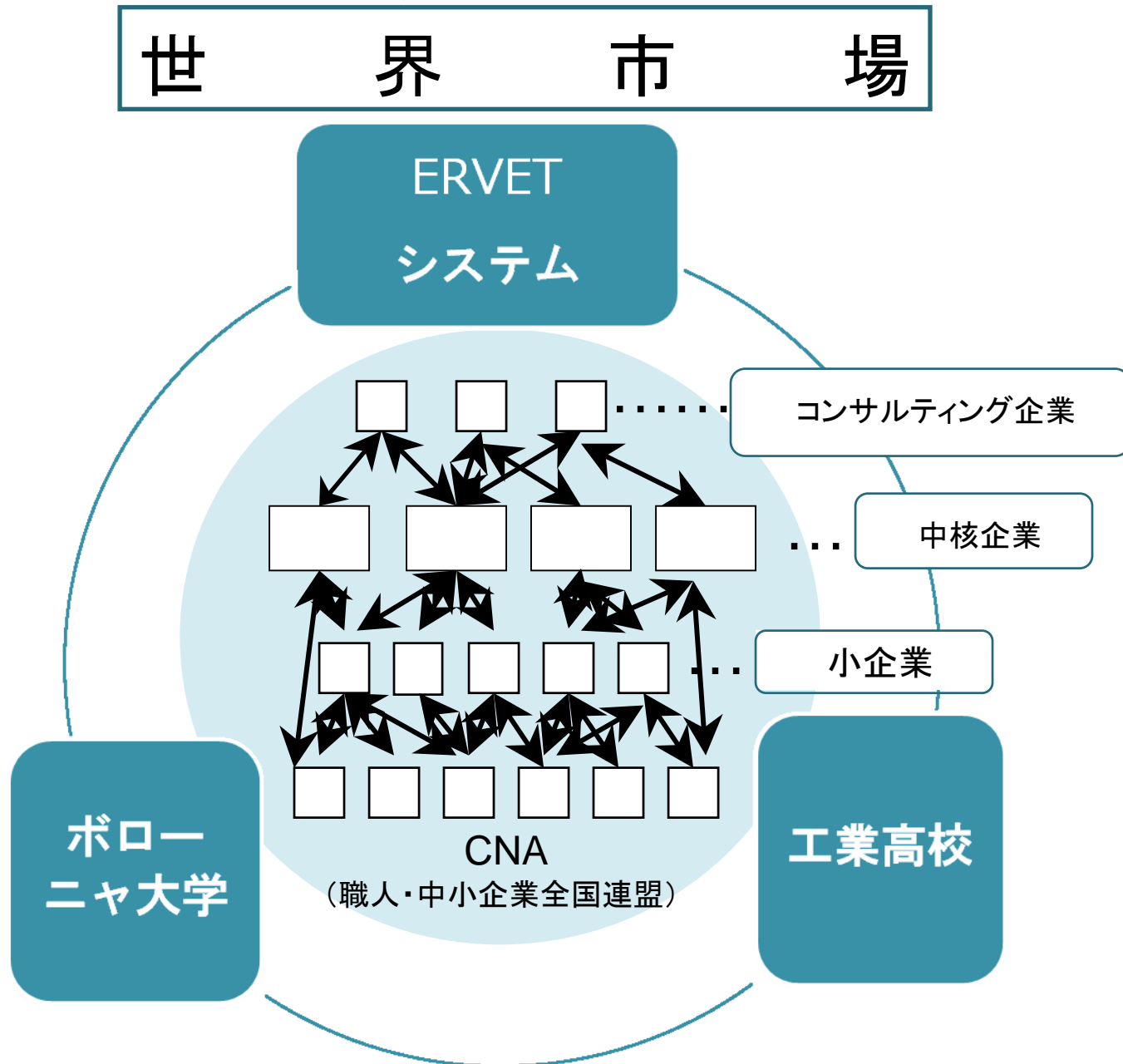
- ・第二次大戦後、イタリアに特徴的な中小企業・職人企業あるいは家族経営の企業はアメリカ型大資本に太刀打ちできず、不況に喘いでいた。
- ・しかし、ボローニャには50年代以降、戦後復興の勢いに乗って製造業を中心に親会社から熟練工が次々と独立起業し、事業主もそれを積極的に支援する気運があった。
- ・親会社の技術は使っても異なる製品を作り、共倒れを防ぐ。上下関係ではなく、平等な関係の独立起業「スピン・オフ＝付随的派生」。
- ・親会社から4、50社が独立し、それを中核企業としてさらに分社、その周りを部品製造業者が数十社取り巻く、というボローニャ独自の現象。

- ・70年代にはこれらの専門分野に特化したスピンオフ企業がお互いの足りないところを補完しあう様々な形の協調関係(ネットワーキング)を構築。
- ・スピン・オフ企業が集積し、競争しながら強調する「3C(cluster=集積、competition=競争、collaboration=協力)」と呼ばれる産業再生のモデルは「ボローニャ方式」と呼ばれる。
- ・ボローニャには電子機械、オートバイ、包装機械の産業地区がある。

## 〔水平的ネットワークとそれを支えるもの〕

- ・地区を形成している企業はほとんど が中小企業。
- ・独自の技術をもって地域内分業を発展させ、互いに水平ネットワークを組んでもものづくりをしている。  
(大企業は例外的)
- ・相互信頼に基づく新しい中小企業のネットワーク化の進行  
⇒グローバル競争の荒波に対抗していく「地域の制度的厚み」を増す

図：ボローニャの生産システム



## ①CNA＝職人・小・中企業全国連盟

民間の連合体。全国組織の非営利団体。

- ・ボローニャ県の本部には県の職人企業2万9000社の約半分が加盟。
  - ・加盟企業は300種。そのうち製造業（機械メーカー、部品生産、繊維、縫製、靴など）が55%、サービス業40%、芸術・伝統産業4%を占める。
  - ・CNAに加盟すると、該当する業種別連合に登録され、創業相談、世界市場・行政・技術革新などの最新情報の提供、会計税務サービス、環境・社会保障の相談、製品開発・ITを含めた技術指導、職員研究、銀行からの融資獲得、行政からの補助金獲得、後継者のいない企業への後継者探しなどのサービスが受けられる。
  - ・グローバル競争の中でEU、中央政府、州政府に対する働きかけを行う。
  - ・持てる情報分析力と自治体とのコネクションを生かし、グローバル化に向けて、業種ごとに様々な提案を行う組織。
- ◆町工場の創造的なものづくりと高い技術水準を支える。

## ②地域の学術・教育機関との連携

### ●ボローニャ大学

- ・ヨーロッパ初の大学。
- ・産業界との密接な関係を持ち、革新的なアイデアを提供。
- ・イタリアで初の大学発インキュベーション組織を設立し、事務所スペースの提供、企業の支援などを行う。  
(入居企業は現在はIT、ソフト関係が多い。)

### ●アルディーニ・ヴァレリアーニ・シラーニ工業学校

(化学/建築/電子工学・テレコミュニケーション/電子工学・オートメーション/情報処理/機械工学/熱工学) 生徒数1550名。

- ・実技重視の指導。
- ・1950年代のボローニャの中小企業創業者の大部分はこの学校の卒業生。
- ・卒業生を対象とした集中講義を開催し、地元企業に密着した研修・再教育を行っている。



### ③行政支援機関の存在

#### ●エミリア・ロマーニャ州経済発展機構（ERVET）

（州政府と地方銀行、CNAなどの事業者協会、商工会議所が出資した第3セクター）

- ・私企業と州政府との間の中核的コーディネート機関
- ・ERVETシステム...

州内の各産業地区に密着したセンターを設置し、地域産業支援を行うシステム。（機械、繊維、建設・セラミック部門ごとにそれぞれ特化したセンターがある）

## 〔ボローニャの文化政策〕

- ・文化消費額(読書、映画、芝居鑑賞など)がイタリアの市の中でトップ。
- ・劇場数23、映画館数40、美術・博物館数50、80以上の図書館や無数の本屋などが集積するボローニャ。
- ・「ボローニャ2000」  
創造的な文化空間を創出するという目的で、文化的なインフラ整備と多数のイベント(コンサート、コンベンション、ラボラトリー)を行う。

- ・ 伝統的町並みを維持するための保存修復を徹底。

例：旧タバコ工場跡地再生→

文学とビジュアル・アートと演劇のための「創造空間」に  
映画館/映画修復研究所/映画関係資料室  
ボローニャ大学コミュニケーション学科の学士号コースの新校舎  
/市立近代美術館/学生寮・低所得者住宅

## **CARISBO（ボローニャ貯蓄銀行）財団**

〔地域の信用金庫や地方銀行が文化支援の財団を持っているようなもの〕

- ・ 総計28億円のうち、芸術分野に9億5000万円の助成。
- ・ 大規模かつ地域に重要なプロジェクトを発案実行する機能を有する。  
社会的要求に対応するべく活動分野が定められている。
- ・ 先述のタバコ工場跡地の建造物修復や、映像作品修復の「チャップリン・プロジェクト」などにも支援。

- ・文化は経済力...ボローニャ市は市政の中に文化政策をしっかりと組み込んでいる。
- ・ビジネスとして成立させ、生活の安定を確保させようと、芸術・文化に関わる人の組合化を支援している。
- ・イタリア語では職人を「アルティジャーノArtigiano」と呼び、技能を「アルテArte」と呼ぶが、これはもともと美や芸術のことで、職人の技能とは語源的にも美や芸術と一体の内容のものであった

## 〔マルチメディア産業地区に向けた取組み〕

- ・パッケージングバレーの成熟を見すえた新たな産業創造の戦略が必要。
- ・マルチメディア産業の集積をめざすMAMBOプロジェクト... 全国の産業衰退地区を対象とする都市再生プロジェクト。基金の半分を企業に、残り半分を施設に投じる計画。

### ◆マイクロ企業のインキュベーター施設「リブラ」

- ・古いレンガ工場跡の一角を利用して設立
- ・企業が独立するために何を必要としているのかを把握し、希望者にビジネスプランを作らせ、最初の3年間指導する。
- ・CNAと協同組合本部などの協力団体から、共同マーケティング・マネジャーや経営診断マネージャーを派遣する。

- 個人の発想を大切にし、企業家としての独立を支援する。「イタリア人は大変個性的だが、経営感覚がない... マネジメントの教育が大切」との担当者言葉。
- 5年間で50企業をスタートアップさせた実績。(既存企業の支援も含めると140社が支援を受け自立)
- 業種はサービス業、広告・グラフィック業が多い。

## 〔示唆〕

- ・インキュベーターが意欲ある起業希望者を支援し事業のスタートアップを促進している。
- ・文化政策が市政に組み込まれており、文化・芸術に関わる人の発表の場、活動の場の確保が行われている。
- ・企業の水平ネットワークと学術・教育機関、行政機関との連携が創造的なものづくりを支え、発展につながっている。